

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公表番号】特表2014-526954(P2014-526954A)

【公表日】平成26年10月9日 (2014.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-056

【出願番号】特願2014-517530(P2014-517530)

【国際特許分類】

B 0 1 J 13/16 (2006.01)

A 6 1 K 8/11 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/84 (2006.01)

C 0 8 G 18/32 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 13/02 D

A 6 1 K 8/11

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 15/00

A 6 1 Q 5/02

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/84

C 0 8 G 18/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月27日 (2014.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも 2 つのイソシアネート官能基を含む少なくとも 1 種のポリイソシアネートを香料に溶かして溶液を形成させるステップと、

b) ステップ a) で得られた前記溶液に、乳化剤またはコロイド安定剤の水溶液を加えるステップと、

c) ステップ b) で得られた前記混合物に、前記ポリイソシアネートと一緒にポリ尿素壁を形成する 3, 5 - ジアミノ - 1, 2, 4 - トリアゾールを加えて、マイクロカプセルスラリーを形成させるステップと

を含む、ポリ尿素マイクロカプセルの製造方法であって、

アミノ酸を少しも加えることなくその方法を実施することを条件とする、ポリ尿素マイクロカプセルの製造方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 種のポリイソシアネートが、少なくとも 1 種の脂肪族ポリイソシアネ

ートと少なくとも1種の芳香族ポリイソシアネートとの混合物の形であり、その両方とも少なくとも2つのイソシアネート官能基を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記脂肪族ポリイソシアネートおよび前記芳香族ポリイソシアネートが、80:20~10:90の各成分間モル比で使用されることを特徴とする、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記脂肪族ポリイソシアネートおよび前記芳香族ポリイソシアネートが、60:40~20:80の各成分間モル比で使用されることを特徴とする、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

25~60%の量の香料が使用され、こうした百分率が前記得られたマイクロカプセルスラリーの全質量に対する質量で定義されることを特徴とする、請求項1~4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記ポリイソシアネートが少なくとも3つのイソシアネート官能基を含むことを特徴とする、請求項1~5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記芳香族ポリイソシアネートが、フェニル部分、トルイル部分、キシリル部分、ナフチル部分またはジフェニル部分を含むことを特徴とする、請求項1~6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記芳香族ポリイソシアネートが、トルエンジイソシアネートのポリイソシアヌレート、トルエンジイソシアネートのトリメチロールプロパン付加物およびキシリレンジイソシアネートのトリメチロールプロパン付加物からなる群から選択されることを特徴とする、請求項1~7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

前記脂肪族ポリイソシアネートが、ヘキサメチレンジイソシアネートの三量体、イソホロンジイソシアネートの三量体およびヘキサメチレンジイソシアネートのビウレットからなる群から選択されることを特徴とする、請求項1~8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項10】

脂肪族ポリイソシアネートと芳香族ポリイソシアネートとの前記混合物が、ヘキサメチレンジイソシアネートのビウレットとキシリレンジイソシアネートのトリメチロールプロパン付加物との混合物であることを特徴とする、請求項1~9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項11】

前記ポリイソシアネートを、ステップa)で得られた前記溶液の全質量に対して2~20質量%の量だけ使用することを特徴とする、請求項1~10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項12】

前記コロイド安定剤が、ポリビニルアルコール、セルロース誘導体、ポリエチレンオキシド、ポリエチレンオキシドとポリエチレンまたはポリプロピレンオキシドとのコポリマー、アクリルアミドとアクリル酸とのコポリマー、カチオン性ポリマーおよびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする、請求項1~11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項13】

請求項1~12のいずれか一項に記載の方法で得られる、ポリ尿素マイクロカプセル。

【請求項14】

請求項13に記載のポリ尿素マイクロカプセルであって、

- 少なくとも2つのイソシアネート官能基を含む少なくとも1種のポリイソシアネートと3,5-ジアミノ-1,2,4-トリアゾールとの重合による反応生成物を含む、ポ

リ尿素壁と、

- コロイド安定剤または乳化剤と、
- カプセル化香料と

を含み、そのようなカプセルがどんなアミノ酸も含まないことを条件とする、請求項 1 3 に記載のポリ尿素マイクロカプセル。

【請求項 1 5】

請求項 1 3 または 1 4 に記載のマイクロカプセルを含む、消費者製品。